

要請番号 (JL21520A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
コスタリカ	H112 言語聴覚士		個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

経済企画省

2) 配属機関名 (日本語)

国立リハビリテーションセンター

3) 任地 (サンホセ県サンホセ市) JICA事務所の所在地 (サンホセ県モンテス・カサ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1954年に設立され、全国の国立病院からの紹介された患者への総合リハビリテーションサービスを提供している。重度で重複障害のある患者が多く、国内で唯一、入院でのリハビリにも対応できる医療センターである。医師、看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、栄養士、理学療法士、作業療法士および言語聴覚士の専門家で構成されるチーム医療を行っている。2019年度予算は35億8千7百万円、職員数は533名。配属先HP(<https://www.ccss.sa.cr/hospitales?v=1>) 2012～2014年に青年海外協力隊(作業療法士)の活動実績あり。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国内で嚥下障害、言語障害に対応できる病院は少なく、所属先となる療法科は長年、言語聴覚士1名体制であったが、患者数増加から2018年に1名が追加採用され、現在は2名で入院・外来患者への対応にあたっている。複合疾患の患者が多く、リハビリテーションにおいても専門的な知識や対応が求められることが多い。外来では、外科、脳性麻痺クリニック等から、脳血管障害、頭部外傷、自閉症等の患者が来院する。近年では、頭頸部腫瘍・癌、骨格神経系損傷の患者数が増えているものの、在籍の言語聴覚士に十分な知見が無く、同疾患に対するリハビリテーション手法の技術移転が求められ、JICA海外協力隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚の言語聴覚士に対して、頭頸部腫瘍・癌および骨格神経系損傷患者の言語障害・嚥下障害のリハビリテーション・経過診断にかかる指導を行う。
- 2.上記1.に関する診断チャート、マニュアル等の関連資料の作成を行う。
- 3.患者家族や医療チームに対して、言語障害・嚥下障害のケアに係るワークショップ等を実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、PC

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: (カウンターパート)言語聴覚士 10年 女性30代 および 言語聴覚士 経験3年 女性 30代 (その他) 医師、栄養士、理学療法士21名、作業療法士8名

活動対象者:

頭頸部腫瘍・癌患者、骨格神経系損傷患者他

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(言語聴覚士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 10年以上 備考：専門性の高い指導を行うため

[参考情報]：

- ・骨格神経系損傷患者のリハビリ経験
- ・頭頸部腫瘍および癌患者のリハビリ経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖湿潤気候) 気温：(15～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居はホームステイを想定。